



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月12日  
上場取引所 東

上場会社名 特殊電極株式会社  
コード番号 3437 URL <http://www.tokuden.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 芳治  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高島 良成 TEL 06-6401-9421  
四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月8日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	3,923	△6.5	211	63.1	221	56.3	143	113.3
27年3月期第2四半期	4,195	13.2	129	72.0	141	67.1	67	210.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 120百万円 (53.9%) 27年3月期第2四半期 78百万円 (54.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	179.11	—
27年3月期第2四半期	83.97	—

※平成27年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	6,691	3,494	51.9	4,338.91
27年3月期	6,947	3,402	48.6	4,215.41

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 3,474百万円 27年3月期 3,375百万円

※平成27年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり純資産につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
28年3月期	—	3.50	—	—	—
28年3月期（予想）	—	—	—	35.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※平成27年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、平成28年3月期（予想）の1株当たり配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,249	△0.3	359	27.8	370	22.6	236	△13.1	295.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※平成27年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり当期純利益につきましては、当連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	801,000株	27年3月期	801,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	319株	27年3月期	217株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	800,767株	27年3月期2Q	800,791株

※平成27年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成27年6月25日開催の第68回定時株主総会において、株式併合について承認可決を受け、平成27年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。当該株式併合を考慮しない場合の平成28年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりです。

- (1) 平成28年3月期の配当予想
  - 1株当たり配当金
  - 期末 3.50円
- (2) 平成28年3月期の連結業績予想
  - 1株当たり当期純利益
  - 通期 29.53円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資が堅調さを見せており、個人消費も底堅い動きとなっており、緩やかな回復基調が続きましたが、中国を始めとするアジア新興国等の景気減速懸念などにより、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中において当社グループは、営業部門におきましては、営業活動の効率化と更なる高度化を推進し、業績拡大に努めてまいりました。

生産工場及び工事工場におきましては、安全第一のもとコスト削減にも積極的に取り組み、作業効率の向上に努めてまいりました。

研究開発などの技術部門におきましては、既存技術の品質向上と新規技術の開発及び実用化に取り組んでまいりました。

また、タイの海外子会社におきましては、引き続き販売体制の強化に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,923百万円（前年同四半期比6.5%減）となりました。また、損益面におきましては、営業利益は211百万円（同63.1%増）、経常利益は221百万円（同56.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は143百万円（同113.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 工事施工

積極的な提案型営業と徹底したコスト低減、品質管理により受注拡大に努めました結果、トッププレート工事、プラズマ粉体肉盛工事の受注は増加しましたが、アルミダイカスト関連工事、粉碎ミル工事、連続製造ロール工事、鉄鋼関連の保全工事の受注が減少したことにより、売上高は2,711百万円（前年同四半期比8.9%減）、セグメント利益は348百万円（同13.9%増）となりました。

## ② 溶接材料

直販体制の優位性を活かし、新規顧客の開拓と既存顧客の更なる深耕による販売強化に努めました結果、当社の主力でありますフラックス入りワイヤなどの製品の売上高は258百万円（前年同四半期比17.1%減）、また、商品のアーク溶接棒、TIG・MIGなどの溶接材料の売上高は453百万円（同4.3%減）となり、溶接材料の合計売上高は712百万円（同9.3%減）、セグメント利益は115百万円（同25.4%減）となりました。

## ③ その他

環境関連装置及び自動車関連のアルミダイカストマシーン用部品の販売を更に進めました結果、売上高は498百万円（前年同四半期比14.9%増）、セグメント利益は42百万円（同128.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は5,153百万円となり、前連結会計年度末に比べて180百万円減少しました。これは、半成工事84百万円の増加がありましたが、受取手形及び売掛金223百万円、その他32百万円の減少が主な要因です。固定資産は1,537百万円となり、前連結会計年度末に比べて75百万円減少しました。これは、有形固定資産30百万円、投資その他の資産39百万円の減少が主な要因です。

この結果、総資産は、6,691百万円となり、前連結会計年度末に比べ256百万円減少しました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,324百万円となり、前連結会計年度末に比べて355百万円減少しました。これは、短期借入金20百万円の増加がありましたが、支払手形及び買掛金130百万円、賞与引当金44百万円、その他187百万円の減少が主な要因です。固定負債は872百万円となり、前連結会計年度末に比べて6百万円増加しました。これは、退職給付に係る負債16百万円の増加が主な要因です。

この結果、負債合計は、3,196百万円となり、前連結会計年度末に比べ348百万円減少しました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,494百万円となり、前連結会計年度末に比べて92百万円増加しました。これは、利益剰余金115百万円の増加が主な要因です。

この結果、自己資本比率は51.9%（前連結会計年度末は48.6%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ22百万円減少し、1,332百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益220百万円に減価償却費の計上64百万円、売上債権の減少222百万円などの資金増加要因があったものの、賞与引当金の減少44百万円、たな卸資産の増加87百万円、仕入債務の減少144百万円、未払金の減少180百万円、法人税等の支払額69百万円などがあり、4百万円の支出（前年同四半期は34百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産の売却による収入16百万円、敷金の回収による収入13百万円などの資金増加要因があったものの、有形固定資産の取得による支出29百万円などがあり、2百万円の支出（前年同四半期は92百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、短期借入金の純増加額20百万円などの資金増加要因があったものの、配当金の支払による支出27百万円があり、14百万円の支出（前年同四半期は16百万円の収入）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当初の計画通りに推移するものと考えており、現時点におきましては、平成27年5月19日発表の業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,354,556	1,332,112
受取手形及び売掛金	2,950,145	2,727,031
商品及び製品	547,660	566,965
半成工事	245,035	329,263
原材料及び貯蔵品	82,611	76,921
その他	154,357	121,983
貸倒引当金	△44	△697
流動資産合計	5,334,323	5,153,581
固定資産		
有形固定資産	1,092,391	1,062,190
無形固定資産	60,248	54,363
投資その他の資産	460,455	421,262
固定資産合計	1,613,096	1,537,816
資産合計	6,947,419	6,691,398
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,780,967	1,650,775
短期借入金	280,000	300,000
未払法人税等	74,500	62,463
賞与引当金	194,848	149,988
工事損失引当金	14,150	13,297
その他	335,377	148,128
流動負債合計	2,679,844	2,324,653
固定負債		
退職給付に係る負債	481,387	498,259
その他	384,017	373,864
固定負債合計	865,405	872,124
負債合計	3,545,250	3,196,778
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	484,812	484,812
資本剰余金	394,812	394,812
利益剰余金	2,401,361	2,516,759
自己株式	△402	△647
株主資本合計	3,280,584	3,395,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,229	7,239
為替換算調整勘定	115,726	112,143
退職給付に係る調整累計額	△42,914	△41,039
その他の包括利益累計額合計	95,040	78,343
非支配株主持分	26,544	20,538
純資産合計	3,402,169	3,494,619
負債純資産合計	6,947,419	6,691,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	4,195,988	3,923,101
売上原価	3,128,840	2,877,167
売上総利益	1,067,147	1,045,934
販売費及び一般管理費	937,535	834,518
営業利益	129,611	211,416
営業外収益		
受取利息	623	494
受取配当金	1,781	1,800
駐車場収入	1,401	1,519
その他	9,750	7,502
営業外収益合計	13,556	11,317
営業外費用		
支払利息	1,125	988
駐車場収入原価	470	461
営業外費用合計	1,596	1,449
経常利益	141,572	221,284
特別利益		
固定資産売却益	—	443
特別利益合計	—	443
特別損失		
固定資産売却損	53	—
固定資産除却損	460	1,542
減損損失	625	—
特別損失合計	1,139	1,542
税金等調整前四半期純利益	140,432	220,185
法人税、住民税及び事業税	75,763	55,532
法人税等調整額	2,867	24,544
法人税等合計	78,630	80,076
四半期純利益	61,801	140,109
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,439	△3,315
親会社株主に帰属する四半期純利益	67,241	143,425

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）
四半期純利益	61,801	140,109
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,463	△14,989
為替換算調整勘定	6,574	△6,272
退職給付に係る調整額	1,578	1,875
その他の包括利益合計	16,616	△19,387
四半期包括利益	78,417	120,722
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	81,885	126,728
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,467	△6,005

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	140,432	220,185
減価償却費	63,315	64,397
賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,896	△44,860
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	18,978	19,634
受取利息及び受取配当金	△2,404	△2,295
支払利息	1,125	988
売上債権の増減額(△は増加)	△200,365	222,296
たな卸資産の増減額(△は増加)	61,825	△87,338
仕入債務の増減額(△は減少)	5,401	△144,714
未払金の増減額(△は減少)	28,549	△180,706
その他	△8,020	△1,487
小計	84,940	66,099
利息及び配当金の受取額	2,479	2,277
利息の支払額	△1,132	△980
法人税等の支払額	△120,614	△69,150
長期預り金の返還による支払額	△576	△2,376
営業活動によるキャッシュ・フロー	△34,902	△4,130
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△99,131	△29,484
有形固定資産の売却による収入	8,854	16,498
無形固定資産の取得による支出	—	△1,859
投資有価証券の取得による支出	△2,087	△2,140
敷金の回収による収入	—	13,996
その他	140	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,224	△2,989
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	20,000
リース債務の返済による支出	△5,940	△5,940
配当金の支払額	△27,760	△27,972
その他	—	△244
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,298	△14,157
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,919	△1,167
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△107,908	△22,444
現金及び現金同等物の期首残高	1,356,053	1,354,556
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,248,144	1,332,112

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。